



## 平成 17 年 9 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 8 月 11 日

上場会社名 株式会社ピクセラ (コード番号：6731 東証第 1 部)  
 (URL <http://www.pixela.co.jp/>)  
 代表者 代表取締役社長 藤岡 浩  
 問合せ先 取締役経営企画室長 御前 仁志 TEL：(06) 6633 - 3500 (代表)

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 たな卸資産について、実地たな卸しを省略しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成 17 年 9 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日 9 ヶ月間）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17 年 9 月期第 3 四半期	5,564 ( - )	△117 ( - )	△243 ( - )	△277 ( - )
16 年 9 月期第 3 四半期	- ( - )	- ( - )	- ( - )	- ( - )
(参考) 16 年 9 月期	-	-	-	-

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17 年 9 月期第 3 四半期	△ 25 20	△ 24 98
16 年 9 月期第 3 四半期	- ( - )	- ( - )
(参考) 16 年 9 月期	-	-

(注) 当期より連結決算となったため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

#### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の連結売上高は、55 億 64 百万円となりました。ハードウェア製品部門では、地上デジタル放送の視聴・録画が可能な TV キャプチャーの出荷が始まり、同製品を搭載した大画面液晶パソコンが新たな市場を形成しつつあります。これにより同部門の利益率が改善いたしました。

一方、ソフトウェアロイヤリティ部門では、デジタルカメラ市場の成熟化により、メーカー各社が生産調整を進めていることから、カメラ向けのソフトウェアロイヤリティが数量、単価ともに下落傾向で推移いたしました。また、受託開発部門におきましても、デジタルカメラ関連の案件が減少いたしました。

利益面につきましては、デジタル放送対応 TV キャプチャー関連の開発が一段落したことから開発費の増加が一服したものの、引き続きデジタルラジオやシリコンチューナーの開発費および関係会社での営業権の償却負担が大きく、営業損失 117 百万円、経常損失 243 百万円、当期純損失 277 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年9月期第3四半期	8,431	5,824	69.1	528 72
16年9月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 当期より連結決算となったため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年9月期第3四半期	△372	△411	△226	2,769
16年9月期第3四半期	—	—	—	—

(注) 当期より連結決算となったため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、27億69百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3億72百万円の支出となりました。これは主として税金等調整前四半期純損失や売上債権、たな卸資産の増加等が、仕入債務の増加により相殺されたものの、法人税等の支払が4億53百万円あったこと等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は4億11百万円の支出となりました。これは主として関連会社の社債引受および貸付の増加が2億80百万円あったほか、有形固定資産の取得が89百万円あったこと等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は2億26百万円の支出となりました。これは、主として配当金の支払によるものであります。

3. 平成17年9月期の連結業績予想（平成16年10月1日～平成17年9月30日）

平成17年5月19日公表の業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【参考】第3四半期個別経営成績等の概況（単独）（平成16年10月1日～平成17年6月30日 9ヶ月間）

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年9月期第3四半期	5,564	(0.5)	△111	(-)	△113	(-)	△147	(-)
16年9月期第3四半期	5,535	(87.0)	759	(69.5)	746	(102.0)	438	(10.0)
（参考）16年9月期	7,506	(67.9)	869	(△4.6)	837	(1.4)	478	(△27.3)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年9月期第3四半期	8,640	6,034	69.8	547 84
16年9月期第3四半期	6,950	4,543	65.4	454 89
（参考）16年9月期	8,631	6,429	74.5	583 68

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示します。

〔製品分類別売上高〕

（単位：百万円）

	平成17年9月期 第3四半期		平成16年9月期 第3四半期	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
ハードウェア製品	4,702	84.5	4,248	76.8
ソフトウェア製品	5	0.1	△11	△0.2
ソフトウェアロイヤリティ	716	12.9	969	17.5
受託開発	139	2.5	329	5.9
合計	5,564	100.0	5,535	100.0

○ 添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書など

以上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当第3四半期 (平成17年6月30日現在)	
	金 額	構成比
(資産の部)		
I 流動資産	6,967	82.6
現金及び預金	2,769	
受取手形及び売掛金	3,299	
たな卸資産	565	
繰延税金資産	67	
その他	265	
II 固定資産	1,463	17.4
有形固定資産	154	1.9
建物	44	
車両運搬具	4	
工具器具及び備品	106	
無形固定資産	44	0.5
投資その他の資産	1,264	15.0
関係会社社債	509	
投資有価証券	14	
関係会社長期貸付金	450	
繰延税金資産	71	
その他	219	
資産合計	8,431	100.0
(負債の部)		
I 流動負債	2,432	28.8
買掛金	2,286	
その他	146	
II 固定負債	174	2.1
役員退職慰労引当金	174	
負債合計	2,607	30.9
(資本の部)		
I 資本金	2,555	30.3
II 資本剰余金	3,211	38.1
III 利益剰余金	115	1.4
IV その他有価証券評価差額金	0	0.0
V 為替換算調整勘定	1	0.0
VI 自己株式	△60	△0.7
資本合計	5,824	69.1
負債及び資本合計	8,431	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当第3四半期 (自平成16年10月1日 至平成17年6月30日)	
	金 額	百分比
I 売上高	5,564	100.0
II 売上原価	4,343	78.1
売上総利益	1,220	21.9
III 販売費及び一般管理費	1,338	24.0
営業損失	117	△2.1
IV 営業外収益	23	0.4
V 営業外費用	149	2.7
経常損失	243	△4.4
税金等調整前四半期純損失	243	△4.4
法人税等	34	0.6
四半期純損失	277	△5.0

3. (要約) 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (自平成16年10月1日 至平成17年6月30日)
	金 額
(資本剰余金の部)	
I 資本剰余金期首残高	3,210
II 資本剰余金増加高	
1. 新株発行に伴う増加高	0
III 資本剰余金期末残高	3,211
(利益剰余金の部)	
I 利益剰余金期首残高	662
II 利益剰余金減少高	
1. 配当金	186
2. 持分法適用会社の増加に伴う減少	82
3. 四半期純損失	277
III 利益剰余金期末残高	115

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期 (自平成16年10月1日 至平成17年6月30日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△243
減価償却費	59
売上債権の増加額	△252
たな卸資産の増加額	△316
仕入債務の増加額	790
その他	41
小計	79
法人税等の支払額	△453
営業活動によるキャッシュ・フロー	△372
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△89
関係会社社債の取得による支出	△130
関係会社貸付金の増加による支出	△150
その他	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△411
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△165
その他	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	8
V 現金及び現金同等物の増加額	△1,002
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,771
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,769